

第9回評議会議事録

日時：平成16年12月17日 17：15 - 20：24

場所：PWJ事務所 1階ホール（ただし、Ⅲ. 議事（3）及び（4）では同所1階会議室に移動した。）

出席：

評議員

外務省 : 上村 司
(ただしⅢ. 議事（1）及び（2）、並びに（5）以降については中野正則氏が代理)

三菱財団 : 石崎 登

学識経験者 : 中村 安秀
(ただしⅢ. 議事（5）の途中から出席)

PWJ : 大西 健丞

AAR : 堀江 良彰 (NGOユニット副代表理事)

評議会アドバイザー

社会貢献担当者懇談会 : 森 信之

前評議会議長 : 長 有紀枝

広島県 : 富永 嘉文

評議会ゲスト

外務省 : 中野、町田

学生ネットワーク : 石川

BHN : 福島

HuMA : 島田、中野

WVJ : 池田、伊藤

オブザーバー

学生ネットワーク : 斗ヶ澤、相田

JEN : 青島

JMAS : 奈良

PWJ : 永野、山本、齋藤、角免、平井

アフガニスタン民間

助成事業評価チーム : 神谷

事務局 : 高松、吉田、出原、谷口

座長 : 池田満豊

I. 定足数確認

評議員定数6名のうち、出席評議員数5名をもって定足数を確認した。

II. 配布資料の確認

- (1) 事務局：第9回JPF評議会次第
- (2) 事務局：議案1 前回議事録の承認
- (3) 事務局：第8回評議会議事録(案)
- (4) 事務局：議案2 助成事業完了報告の承認
- (5) 事務局：イラン関係支援事業概要取りまとめ表
- (6) WVJ：イラン南東部地震緊急教育復興事業実施報告書
- (7) HuMA：ヘルスハウス(Zone5)の仮施設設置支援事業実施報告書
- (8) NGOユニット：イラン南東部地震助成報告書作成事業収支計算書
- (9) 事務局：イラク関係支援事業概要取りまとめ表
- (10) PWJ：イラク緊急支援事業3実施報告書
- (11) 事務局：議案3 固定資産処分の承認
- (12) WVJ：固定資産処分申請
- (13) 事務局：議案4 助成資格変更の承認
- (14) 事務局：JPFフォーマル/アソシエイト判定基準に基づくJCCPの資格に関する事務局審査結果
- (15) 事務局：議案5 地域研究コンソーシアム運営委員推薦の承認
- (16) 事務局：事業計画の変更取りまとめ
- (17) BHN：「ライフライン無線ネットワーク事業II」事業に係る廃止経緯について(報告)
- (18) NGOユニット：アフガニスタン民間助成事業評価報告書
- (19) 事務局：震災支援タスクフォース資料
- (20) 中村評議員：JICAメルマガ「イラン・バム地震から1年」(写し)
- (21) 事務局：運営資金繰り及び収支計算書
- (22) 事務局：第11回NGOユニット理事会議案2(写し)
- (23) WVJ：スーダン、ダルフルールにおける現状と支援ニーズ
- (24) 学生ネット：新潟プロジェクトwith(特活)JEN

III. 議事

- (1) 前回議事録の承認について

事務局から先にメール送信済みの第8回評議会議事録(案)に対し、これまでに訂正要請

が事務局に寄せられていない旨事務局より報告され、同案をもって議事録とする旨全会一致で承認した。

(2) 助成事業完了報告の承認について

配布資料に基づき、WV J から事業実施報告がなされ、報告内容を全会一致で承認した。
なお、議事進行の都合上、他の完了報告3件については後刻審議することとした。

(以下の(3)及び(4)の議事進行は、評議員及びアドバイザーのほか、評議員の指定する随行者(ゲスト)、並びに事務局の高松及び吉田のみにより行われた。)

(3) イラク要員の採用について

応募状況及び面接予定について事務局より報告があり、協議の結果、面接には外務省も加わることとなった。

(4) 労使交渉について

NGOユニット正副代表理事(評議員)より、交渉経緯が説明され、関連協議を行った。
第11回NGOユニット理事会における可決事項に基づき対応していくことを了承した。

(以下の議事進行は、再度出席者全員で行なわれた。)

(5) 助成事業完了報告の承認について

配布資料に基づき、HuMA、NGOユニット及びPWJから事業実施報告がなされ、上程された全件の報告内容を全会一致で承認した。

(6) 固定資産処分の承認について

配付資料に基づき、WV J からイラン南東部地震緊急救援(初動調査)事業で取得した固定資産を今後も現地で同種事業のため継続使用したい旨説明があり、審議の結果、その処分基準案を事務局が起草して外務省協議を経て定めることとし、それに拠って本件処分方法を決するとの旨を全会一致で決定した。

なお、それまでの間、本件については現管理者において善良な管理を行うよう指示した。

(7) 助成資格変更の承認について

JCCPの助成資格変更申請について、事務局から配付資料に基づき審査結果の説明があり、審議の結果、原案を全会一致で可決した。

(8) 地域研究コンソーシアム運営委員推薦の承認について

地域研究コンソーシアムからJPFに運営委員推薦の依頼があった旨中村評議員から説明があり、審議の結果、原案にある大西氏を推薦することを全会一致で承認した。

なお、JPF議長の交代があった場合であっても自動的に本件委員の交代が行なわれるのではないことを確認するとともに、大西氏が本件委員を務めるに当たってJPF議長の肩書きを名乗ることを全会一致で承認した。

- (9) 助成事業計画変更の取りまとめについて
配付資料に基づき事務局より報告がなされた。
- (10) イラン南東部地震助成第6期「ライフライン無線ネットワーク事業Ⅱ」(BHN)の経過について
配付資料に基づきBHNより報告がなされた。これに関して今後地域研究コンソーシアムの枠組みを活用する等して、事業の的確な実施に必要な情報を十分に収集することに努めるべき旨の指摘がなされた。
- (11) BHNのイラク調査案件に係る調整について
前回指示に基づき、プロポーザル審査手続きに関するBHNと事務局の認識の差についてNGOユニット評議員を含めた三者で協議・整理した結果が、池田氏より報告された。これに関し、事業申請書の受け付けから評議会審査に至る過程において事務局が担うべき役割について、事務局が外務省と協議のうえ本会に報告するよう指示した。
- (12) 「アフガニスタン民間助成事業評価報告書」について
評価チーム・リーダーである神谷氏より、完成した報告書の概要が説明された。また、本報告書作成にあたった神谷氏、斉藤氏、桑名氏及び事務局担当スタッフ(出原、谷口、山元)に対し、本会より謝意を表した。これに関連して、今後同様の報告書にドナー企業名を掲載する場合の基準について、経団連の助言も受けながら検討するよう事務局に指示した。
- (13) ○(*注)の小学校と給水設備の応急修復事業(JEN)の実施状況について
JENから本件事業の実施状況と、今後現地治安状況が悪化した場合には事業計画の変更がありうるとの報告がなされた。
- (14) スーダン、ダルフルにおける現状と支援ニーズについて
第7回の本会においてスーダン人道支援の関心表明を行なったWVJから、現在独自に実施中の現地調査状況について報告がなされた。本会開催時点における関心表明団体はADRA、SCJ及びWVJであり、本会への調査プロポーザル提出は平成17年1月期になる見込みである旨の報告が併せ行なわれた。
- (15) JPF震災支援タスクフォースについて
タスクフォースによる震災対応モデルについて、配付資料に基づき事務局より報告がなされた。本会はその労を多とし、かかるモデルを土台として完成に向け準備を進めていくようタスクフォースに指示した。なお本件説明に関して、以下のような指摘がなされた。
- ・ 想定される臨時持ち回り評議会において連絡がとれ、その承認が得られれば出動する。特に政府資金を活用する場合には4人の評議員の中に外務省評議員を必ず含めるようにし、経費支出についての外務省の事前承認を得ることが必要である。
 - ・ 場合によっては想定時間内で評議員本人に連絡が取れないことも考えられるので、このような場合に予め各評議員の代理を行なうべき者を指定しておくことが必要であること。

(16) 次回評議会の開催日時・会場について

平成17年1月24日17時よりPWJ事務所にて開催することとした。

なお、終了後にJPF学生ネットワークの主管でJPF新年祝賀レセプションを開催することを確認した。

(17) NPO関係税制改正について

与党による税制改正大綱のNPO関連部分において、NGOユニットの認定取得にあたってのハードルとなっている共益団体排除要件につき、「いわゆるネットワーク型NPO法人（NPO法人等の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動を行なうことを主たる目的とするNPO法人）の会員等に対する助成事業のうち、特定公益増進法人又は認定NPO法人が参加する事業を共益的活動の範囲から除外する。」旨の見直し提案が盛り込まれた旨と、これに関し外務省に関連当局との交渉等大変なご助力をいただいた旨が事務局より報告され、本会は本件実現に向けた外務省による助力に謝意を表した。

(18) 商標「JAPAN PLATFORM + Design」の登録出願結果について

先に出願していた商標登録が特許庁に認められ、11月19日付けで商標登録証が交付された旨、事務局より報告がなされた。

(19) ソニー吹奏楽団定期演奏会における募金活動結果について

11月27日のソニー吹奏楽団定期演奏会において311千円余の寄付をいただいた旨、またこの際に学生ネット参加者等の協力があつた旨、事務局より報告がなされた。

(20) 新潟中越地震救援活動について

JENによる新潟中越地震救援活動においてJPF学生ネットワークのボランティア活動が行われている旨、JEN及び学生ネットより報告がなされた。

(21) 学生ネットワークによるウェブ・サイト開設について

学生ネットより、現在Web開設の準備を進めている旨の報告がなされた。

(22) JPFを紹介した新聞記事について

12月13日付けのTHE NIKKEI WEEKLYにJPFを紹介する記事が載った旨、事務局より報告された。

(23) ザンビア支援事業の外部評価について

WVJ及びAARが実施したザンビア支援事業について、外務省民間援助支援室の委託により財団法人日本国際協力システムが評価作業を行うこととなった旨、WVJより報告された。

(*注) イラク支援事業にかかる案件名表記に関しては、要員の安全確保の観点から、一部を仮称扱いとした。

以上